

↓ボートの仕組みを説明するインストラクターの小堀さん



「ボート体験」に23人が参加しました。

3/20 (金)

この日は、県内6市町でプレインベントツアーが開催され、本町では、若狭美浜はあとの体験で一番人気の



↑インストラクター指導のもと意気を合わせて艇を漕ぎ進める参加者

3月20日から22日にかけて、第6回ほんもの体験フォーラムinふくいが、本町をメイン会場に開催されました。このフォーラムは、体験・交流によるまちづくりやグリーンツーリズムなどに取り組み関係者が一堂に集い、幅広く交流することを目的に毎年開催地を変え実施されているもので、今回も、北は北海道から南は沖縄まで約1,100人の人たちが参加されました。参加者らは、期間中に行われたプレイベントや講演・分科会などを通して、体験交流の実践的な手法を学びました。

第6回

# 全国ほんもの体験フォーラム

inふくい

■教育が変わる。人が高まる。地域が活きる。日本が元気になる。

3/21 (土)

□地びき網と食体験

午前中は、前日に引き続きプレイベント「地びき網と食体験」が丹生白浜海岸で行われ、その後、「雪の白浜館」に移動しアジやサワラ、ヤリイカを捌き食する食体験が行われました。



↑もう一息、力を合わせ引き上げよう！



↑サワラの捌き方を学ぶ参加者

↓大敷網・食体験を通し「いのち」の大切さを伝えていきたいと話す藤井さん(左)と橋本さん(右)



子どもたちとの交流が自分の意識や地域を変えてくれたと話す浜野さん→



まず、県内4団体から事例発表が行われ、本町からは、若狭美浜はあどふる体験推進協議会を代表し、体験インストラクターである浜野道明さんと藤井靖子さん、橋本信子さんが県内外の子どもたちを受入れし、感じたことや今後の課題について発表されました。

□事例発表

21日の午後からは、本フォーラムのメインとなる全体フォーラムが総合体育館で開催されました。

□記念講演

その後、本町出身の山口良治氏による「熱き感動を求めて」と題した記念講演が行われました。

山口氏は、教員時代、生徒に体当たりで指導したラグビーを例にとり、「子どもを育てていく上で、言い訳探しはやめよう。それぞれの地域で子どもと接する中で、繋がりや絆を深めるとともに気づきを与え、体験学習のすばらしさを伝えてあげてほしい。」と話されました。



↑身振り手振りを交えながら話す山口氏

□基調提案&

パネルディスカッション

記念講演後には、心高まる「ほんもの体験」〜日本の明日を変える力〜と題し、日々、体験型観光に取り組む藤澤安良氏(体験教育企画代表)の基調提案と、各地域で実践し



↑体験型観光のスペシャリストたちが本音トークで話し合いました

ている6人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。コーディネーターを務めた藤澤氏は、各パネリストの各地域で体験型観光を始めたきっかけから今日に至るまでの経緯や、この取り組みによりもたらした効果などを総括し、「ただ体験してもらっただけでは意味がない。体験を通して人と人との交流を深めることが最も重要。」と話していました。

3/22 (日)



最終日には、前日に行われたパネルディスカッションを更に掘り下げ、それぞれの課題を探る4つの分科会が、本町をはじめ、敦賀市と若狭町を会場に行われました。各会場では、パネリストから活発な意見や質問が出され、参加者は、地域における「ほんもの体験」の意義について理解を深めていきました。

↓体験交流の多様な分野への可能性を探った第1分科会(はあとぴあ)



↑ほんもの体験の教育上の有効性を話し合った第2分科会(中央公民館)





↑日本シジミ研究所の中村所長からシジミについて説明を受ける参加者

**久** 々子湖のシジミは、塩分濃度が生育に適していることから味も良く、地元の朝市などでは多くの人気を呼んでいます。しかし、漁獲量は年間数トンと他の湖と比べて非常に少ない状況となっています。久々子湖の環境保全と関係産業の活性化を目的にした組織「久々子湖親水プロジェクト実行委員会」では、3月5日に水質浄化作用もあるシジミを久々子湖で増やすため、日本一のシジミ産地である宍道湖で調査研究を行っている日本シジミ研究所（島根県松江市）や神西湖の漁業協

# 久々子湖のシジミを増やすため

## 島根県宍道湖に学ぶ



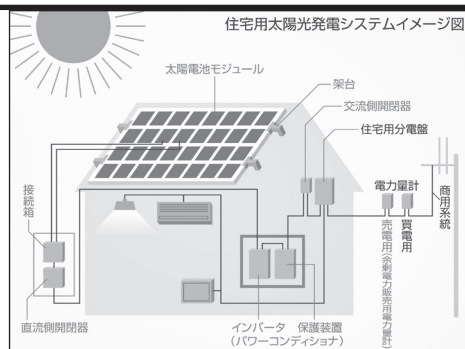
↑神西湖の漁業協同組合員との意見交換

同組合等を視察しました。委員長である南西郷漁業協同組合の武田組合長は、「漁業者も、ただシジミをとることだけでなく、シジミの生態や生育環境などを知っておく必要がある。限られた資源の乱獲を防止するために、組合でとるシジミの大きさや時期を制限することも大切。また遊覧船の運航で生じる波や家庭からの排水、農業排水もシジミの生育に影響があるため、関係団体と協力しながら共に改善していきたい。」と話していました。

## 住宅用の太陽光発電設備を助成します！

地球温暖化防止のため、一般住宅に太陽光発電設備（※1）を新たに設置される方に、国・県・町が、それぞれ設置費の助成を行います。

（※1）太陽電池パネルを屋根などに設置し、太陽光のエネルギーを直接電力に変換する発電装置です。



### 募集開始日

平成21年4月1日から

### 対象期間

交付決定の日から平成22年3月31日まで（工事が完了する日）

※国の補助の場合は交付決定後から既築は3か月、新築は6か月以内

### 補助の要件

- 国 … 国が定める条件に合った設備であること  
（住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金交付要綱）
- 県 … (1) LOVE アースふくいの「わが家のエコ宣言」に登録し実践すること  
(2) 県の環境基本計画に定めるプロジェクトの実践  
(3) 設備設置後の電力使用量調査 など
- 町 … (1) 美浜町民で町税等に滞納がないこと  
(2) 町が実施する環境活動への参加  
(3) 県または国へ提出する情報を町が使用することへの承諾

### 補助金額

助成元	助成額 (1kw/h当り)	上限
国	70,000円	10kw/hまで
県	36,000円	4kwまで
町	12,000円	4kwまで

### 申請方法

申請者は、国・県・町の各申請書と必要な書類をまとめて町住民安全課へ提出してください。なお、申請手続きは設備の販売業者が代行して行うことができます。

※申請書類は、町住民安全課にお問い合わせください。

※お問い合わせ先  
町住民安全課（担当・田辺）☎ 32-6703

# 美浜発電所の状況



今回の報告では、3月19日から4月17日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

## 美浜1号機

定格熱出力一定運転中

(平成20年7月18日)

## 美浜2号機

第25回定期検査中

(平成21年4月3日～7月下旬予定)

今回の定期検査は、新しい検査制度が1月から施行され、同制度が適用される全国で最初の定期検査です。(広報1月号参照)

定期検査では、新たな仕組みの一つとして過去のトラブルや経年劣化の状況などを踏まえて点検計画(保全計画)を作成し、1月に国に届

出して事前確認を受けており、その点検計画に基づいた点検が行われます。また、1000箇所を超える2次系配管の肉厚測定や予防保全として226箇所について全てステンレス配管に取替える工事が計画されています。

その他には、

①配管や空調ダクト、タンクの脚部等支持部を補強し地震に対しての強度を向上させる耐震裕度向上工事

②600系ニッケル基合金(※1)を使った溶接部で、応力腐食割れ

(※2)の事象が国内外の加圧水型原子炉で発生しており、その対策工

事として、加圧器管台部を690系ニッケル基合金を使った管台への取

替工事(図1)

③湿水分離加熱器(※3)加熱管取替工事(図1)

などが計画されています。

(※1)

・600系、690系ニッケル基合金  
ともにニッケル、クロム、鉄を主成分とし、その含有割合の異なる合金で、耐熱、耐腐食性に優れる。690系は600系に比べ高温雰囲気での耐腐食性に優れる。

(※2)

・応力腐食割れ  
物体に加えられる力を応力(ストレス)といい、引っ張りの応力・圧縮の応力・ねじりの応力に分類される。この力が残ることによって加速される腐食を総称して「応力腐食割れ」といいます。

・湿水分離加熱器  
高圧タービンを回した後の蒸気は、温度が低下し湿分が多くなるため、蒸気発生器からの高温の蒸気を使って湿分の除去と再加熱し、低圧タービンに供給する設備。

## 美浜3号機

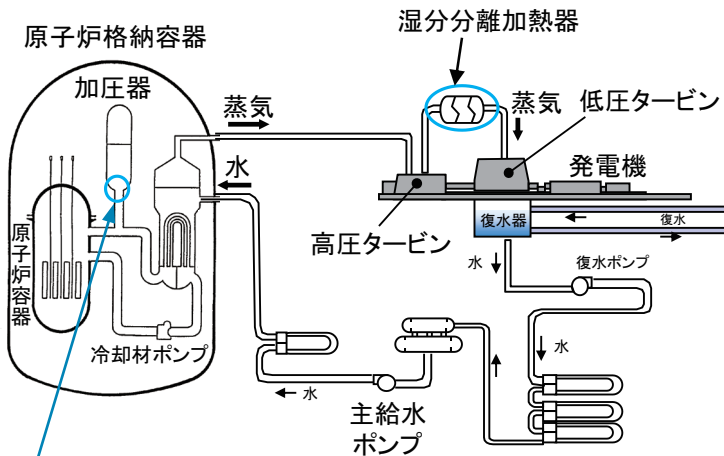
定格熱出力一定運転中

(平成20年12月10日)

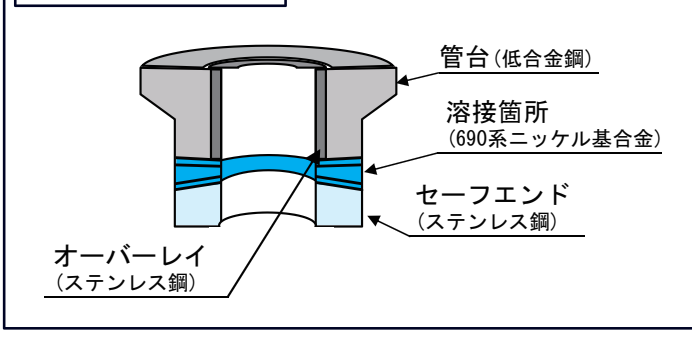
基準地震動( $S_s$ )見直しによる耐震安全性を評価

関西電力(株)は、基準地震動( $S_s$ )の見直し案を3月3日に示し(広報み

(図1) 【系統概要図】



加圧器管台取替部分



はま4月号参照)、3月31日には見直した基準地震動によっても、美浜、大飯、高浜の全号機について原子炉建屋や原子炉補助建屋、原子炉を「止める」「冷やす」放射性物質を「閉じ込める」といった安全上重要な施設の耐震安全性は確保されていることが確認できたとする報告書を、昨年3月末の中間報告書の追補版として取りまとめ、国に報告するとともに町や県も提出を受けました。

内容については、国の原子力安全・保安院の審議会などにおいて評価が行われます。

# お知らせ

募集や案内など、さまざまなお知らせをお届けします。

## 町役場各部署直通電話番号

総務課	32-6700
企画政策課	32-6701
税務課	32-6702
住民安全課	32-6703
健康福祉課	32-6704
商工観光課	32-6705
農林水産課	32-6706
土木建築課	32-6707
学校教育課	32-6708
生涯学習課	32-6709
出納室	32-6710
議会事務局	32-6711
上下水道課	32-1341

## 町各施設電話番号

はあとびあ	32-3111
中央公民館	32-1212
町立図書館	32-0083
丹生診療所	39-1301
東部診療所	37-2911
総合体育館	32-3200
エコクル美方	45-2300
子育て支援センター	32-0192

## 第21回美浜・五木ひろしマラソン開催に伴う

交通規制にご協力をお願いいたします

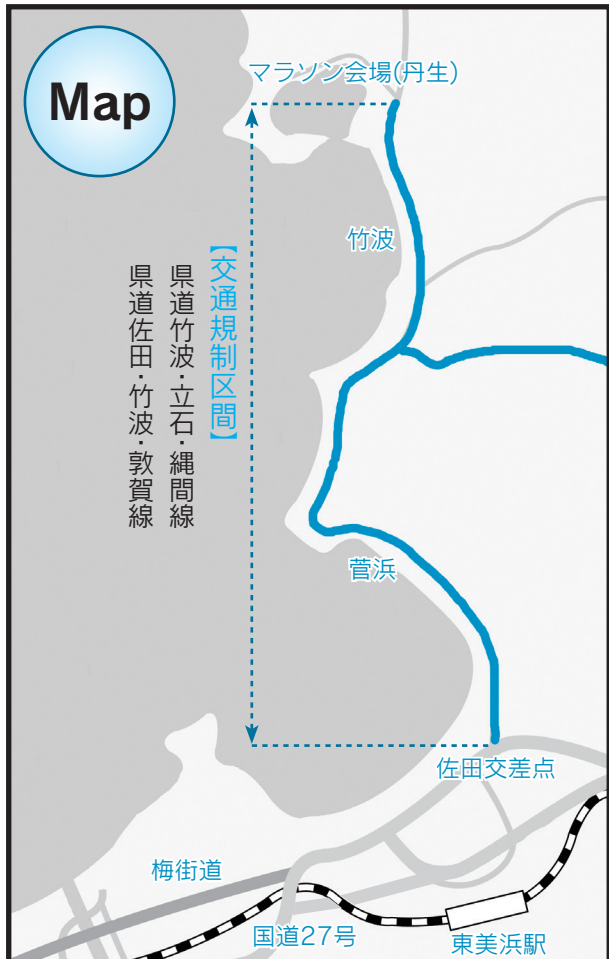
### 交通規制日時

5月10日(日)

午前9時30分～午後0時30分まで

### 交通規制区間

丹生マラソン会場から佐田交差点



※お問い合わせ先

美浜・五木ひろしマラソン事務局

(町生涯学習課 担当・森下)

☎ 32-6709

## 5月の町立図書館の

催しをお知らせします

### ◇おはなしのじかん

〜こどもの読書週間スペシャル〜

日時 5月2日(土)

午前10時30分～11時10分

内容 パネルシアターや紙芝居

絵本の読み聞かせ

対象 3歳～小学生

参加費 無料

### ◇おはなしクッキング

日時 5月23日(土)

午前10時30分～正午

内容 絵本の読み聞かせ&クッキング(お団子のスープ)

対象 3歳～小学生

定員 15人

材料代 100円

申込締切 5月16日(土)午後5時

※どちらも、幼児は保護者同伴でお願いします。

※お問い合わせ先

町立図書館

☎ 32-0083

## 5月の子育て支援センターの

催しをお知らせします

### ◇さくらんぼひろば

お父さん一緒に遊ぼう!第1弾

「どんぐり倶楽部であそぼう!」

日時 5月16日(土)

午前10時30分～正午

場所 どんぐり倶楽部(新庄)

内容

自然の中を散策し、摘み取った山菜を天ぷらにして試食します。

対象

1歳からのお子さん(未就園児)とその保護者

※5月13日(水)までにお申し込みください。申込書は子育て支援センターにあります。また、子ども1人につき、大人1人以上の参加をお願いします。

※お問い合わせ先

子育て支援センター

☎ 32-0192